

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組について

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 習 指 導</p>	<p>中長期的な重点目標の1 「生徒の学力向上を図る」</p> <p>①（定時制）</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2年において国語・数学・英語の3教科で習熟度に応じた特別授業を実施し、基礎学力の向上を図ります。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒満足度80%を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生において3教科で実施。 ・生徒の満足度は平均して86%。 ・教科や学年によっては、満足度に多少のばらつきがある。 ・質問がしやすいなどの意見が多数。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を高めるために、教材の工夫が必要である。 ・生徒の学力に差が大きく、簡単にできてしまう生徒と、なかなか進めない生徒がおり、進め方やクラス編成にもさらなる工夫が必要である。
	<p>中長期的な重点目標の4 「社会の変化に対応した教育活動に取り組む」</p> <p>①生徒間の対話を深め、気づきを得られるような「総合的な学習の時間」を再考することで生徒の持つ思考力・発信力をより高め、協調性とリーダーシップを兼ね備えた状態を目指します。（教務部）</p> <p>【取り組み状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生はオープンキャンパスを利用した自主活動などを、2年生は修学旅行での班別行動をつかった自主活動などを、3年生は校外研修会を使った自主活動などを行います。また、その他にも対話と気づきが大切であることを訴える講演会を実施します。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」を振り返った生徒アンケートの中で、「この授業を通じて自身の成長が図られましたか」の項目で「はい」を選択する生徒が8割を超えることを目標とします。 <p>②（定時制）</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「生きる力」醸成のために防災・環境・安全・健康・人権等に関する総合学習を年間35時間以上実施します。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒満足度について4段階でA、B合わせて90%以上を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話と気づきを大切にする各学年の取組はすべて予定通り行った。校外研修ではチームで写真を撮ってくる新たな取組も行った。卒業生によるパネルディスカッションは3月に行う予定である。 ・達成の指標としては、 23年度 36% 24年度 68% 25年度 73% ・年度末までに27回、38時間実施する予定である。 ・生徒満足度は1/15現在、94%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の取組においては、生徒たちも積極的に楽しそうに参加してくれていた。 ・1・3年生は内容も充実しているが、2年生での取組が少なかったため、次年度の課題としたい。 ・達成状況の指標から、数値は上昇してきたものの、目標の80%にはまだ届いていないことなどから、質の向上・目的の明確化を図っていきたい。 ・今年度もキャリア教育や防災教育など多方面での「生きる力」を育む取組を実施できた。特に人権学習では、外国人の人権に視点をあてた学習を管理職も参加して取り組むことができた。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生活指導</p>	<p>中長期的な重点目標の3 「生徒の心と体の健全な育成に取り組む」</p> <p>①日ごろの生活習慣のリズムを整えることに重点をおき、自立した生活をおくる事ができるよう指導します。(生徒指導)</p> <p>【取り組み状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 達成方法として、すべての授業日に毎朝10分校門にて指導します。(検査日は除く) <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全校遅刻延べ人数を昨年度より5%減少させ、無理なく学力向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 12月末までの集計結果は昨年のべ877人に対して今年度は674人で約23%の大幅減を達成できた。特に本年は3年生の遅刻が例年と比較して極端に少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の担任団がこまめに指導してくれていることが大きいことと、生徒自身が授業を大切にしようとする自覚していることが大きい。また校門での声掛けも一定の成果があったように思う。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">進路指導</p>	<p>中長期的な重点目標の2 「生徒の進路希望実現を図る」</p> <p>①キャリアデザインを通じたコース選択や志望校の決定をし、志望校合格を実現します。(進路)</p> <p>【取り組み状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内大学説明会の対象学年と狙いを明らかにし、回数・内容ともに充実させます。(実施大学：計3校以上)3年次には普通科・理数科全員が第一志望校の志望理由書を完成させます。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年向け説明会：参加人数が普通科・理数科生徒の8割以上を目指します 2・3年向け説明会：参加者の満足度8割以上を目指します 国公立大学現役合格数が、普通科・理数科卒業生数の4割以上を目指します。 <p>②専門職業人となるための自覚と責任を持ち、自己研鑽できる力を育てます。</p> <p>看護師国家試験全員合格を目標とし、基礎学力の定着及び自立的に学習する姿勢を育てます。(衛生看護科)</p> <p>【取り組み状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職としての自覚と職業観育成の為に外部講師や卒業生を招いてのキャリア教育をおこないます。 学習に取り組む姿勢を育てるため、課題や確認テストを行い、その結果を踏まえた生徒個々のレベルに応じた個別指導を行います。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習状況調査において、日々の学習時間「1時間以上」と70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生向けは、三重大学説明会を文理・科目選択に向けて10月に実施した。人文・教育・工・生物資源・医学部の5つの分科会に普通科・理数科生徒全員が参加した。 2・3年生向けは、大阪大学法学部、名古屋大学経済学部、名古屋大学工学部説明会を6～7月にかけて実施した。参加人数はそれぞれ23名、37名、103名であった。 終了後に、①大学学部について理解できたか、②大学学部について関心が高まったか、③自らの進路を考えるきっかけになったか、の3項目について1,2,3,4の4段階評価でアンケートを行った。結果は平均で以下の通り。 阪大・法 ①3.4 ②3.6 ③3.7 名大・経 ①3.3 ②3.3 ③3.4 名大・工 ①2.9 ②3.2 ③3.0 第一志望校の志望理由書は全員が書いた。 <p>衛生看護科</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の学習が30分以上と90%以上の生徒が答えている。 <p>衛生看護専攻科</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の学習が1時間以上と90%以上の生徒が答えている。特に専攻科2年生は全員が2～3時間と答えている 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ大学の説明会でも学年によって求める内容が違うので、全員が満足する説明会にしにくいというこれまでの反省から、今年度は1年生と2・3年生に分けて実施した。1年生については、今年度より総合学習検討委員会と連携して、授業時間の中で実施した結果、クラブ活動などへの影響を抑えつつ全員を参加させることができた。全学部同じ日に行ったので、日程の調整が難しかったことと、複数の学部に参加したいという要望には応えられなかったのが今後の課題である。また、講演をいただく講師の先生によって満足度が左右される傾向がある。継続して同様のアンケートを取りながら、人選について可能な限り要望をしていきたい。 志望理由書について全員が校長・教頭と面談をして意識を高めることができた。管理職の負担が大きいことと、志望理由書完成から面談実施まで時期が大きくなる場合もあることが課題である。 <p>衛生看護科</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通教科、専門教科ともに課題や確認テストを実施することで学習時間の確保につながった。 接遇講演、卒業生と語る会、臨地実習等を通して、職業意識の高揚を図ることができた <p>衛生看護専攻科</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師による5月に行われる国試ガイダンスは国試勉強への意識付けとなった。しかし時期が早いこともあり、臨地実習後も継続的に実施することが必要である。 校外模試等の結果を踏まえた個別指導を実施した。成績不良の生

	<p>の生徒が回答することを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率100%を目指します。 <p>③ (定時制)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じた進路指導を実施し、主体的に進路を選択できる力を身に付させます。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の有職率80%を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制では2回のキャリア教育を実施した。 <p>第1回、履歴書の書き方、求人票の見方 統一応募用紙について</p> <p>第2回、職業別体験授業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援相談員の支援も受け、12月末現在有職率76%を達成 	<p>徒には生徒のレベルに応じた継続的な個別指導が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍生徒も増加し、多様な生徒が在籍しているため就職支援相談員やハローワークの助けも借りながら一層効果的なキャリア教育の充実に努めたい。 ・年毎にアルバイトもままならない生徒が増えているが、3月末までには有職率80%を目指したい。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学年指導</p>	<p>中長期的な重点目標の1 「生徒の学力向上を図る」</p> <p>①国公立大学を第一志望としている生徒が9割近くいるため、第一志望を諦めない指導を続けます。(3学年)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安易な科目減や、進路変更をさせずに、センター試験までは「諦めない粘り強さ」を合い言葉に生徒・担任一丸となって受験を乗り切る雰囲気作りをします。そのために担任間の意志連携を重視し、学年会以外に年間5回以上のオフサイトミーティングを実施します。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学140名以上合格を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年の在籍生徒315名中310名が出願した。安易な科目減はほとんど見られなかった。 ・そして、国公立大学に出願した生徒数は約283名となった。 ・オフサイトミーティングによって担任間での意思疎通もでき、クラスを隔てることなく誰でも生徒の指導ができた。 ・進路集計は後日書き込みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年に関わる先生同士のチームワークがよい成果となって現れた。また、担任間での意思疎通が行き届いていたことにより、画一した生徒への指導ができた。 ・生徒は「諦めない粘り強さ」を持ち最後まで頑張った。個々の教科指導の成果を最大限に発揮するにはクラスの授業を受ける雰囲気作りが重要なファクターだと実感した。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学校運営の取り組み</p>	<p>中長期的な重点目標の4 「社会の変化に対応した教育活動に取り組む」</p> <p>①生徒が生き生き学校生活を送れるように、また教員が生徒とかかわる時間を十分確保できるように、教員間の連携を図り、業務や会議などの精選や効率化に取り組みます。(総務)</p> <p>【取組状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画委員会などを通して分掌間の連携を図ります。 ・朝の打ち合わせを簡素化できるように取り組みます。 ・同僚と相談しながら仕事を進めていける職場づくりに取り組みます。 <p>【達成状況の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員満足度調査の人間関係の項目学校全体として、自由に意見を言えるような雰囲気はありますか。 職員間の対話は活発に行われていますか。 同僚と相談しながら仕事を進めていく体制はできていますか。 <p>の数値3.0以上を目指します。</p>	<p>職員満足度調査結果より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に意見を言えるような雰囲気はありますか。→ 数値2.8 ・職員間の対話は活発に行われていますか。→ 数値2.8 ・同僚と相談しながら仕事を進めていく体制ができていますか。→ 数値3.1 <p>はじめの2つに関しては、年々数値は上がっているが目標値に達しなかった。3つ目に関しては目標値を上回り達成することが出来た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ職員間の対話が増えつつあるが、メール等で連絡が済まされることが多いため、まだまだ直接対話する機会が不足しているのが現状である。今後も業務や会議などの精選や効率化を図り、直接、職員間でコミュニケーションをとる余裕を確保する必要がある。

(2)組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況

強み	<ul style="list-style-type: none">・今年度の重点取り組みにおける行動計画は、多くは目標を上回り、そうでない計画も改善傾向がみられている。・これは、仕事の精選・職員間のコミュニケーションの活性化のための取組を、ここ数年継続的に行ってきたことで自由に意見が言える雰囲気職員全体に浸透し、職員間の意思疎通がスムーズに行われていることから、そのような結果が得られていると考える。・職員間コミュニケーションを大切にすることが桑名高校の強みとなったと言えるのではないか。
弱み	<ul style="list-style-type: none">・改善傾向はみられるものの、多忙感の解消は今後も課題である。・そして、そこからくる授業改善の取り組みに至らない、時間が取れない現状が弱みと考える。・職員の多くが自分の授業をより高めたいという思いを持っており、これを実現するための取組や時間の確保がこれからの課題と言える。

(3)学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等

<実施回数>	2回
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・第1回は6月19日(水)に実施した。学校関係者評価委員は5名中3名が出席した。校長挨拶に続き、学校関係者評価委員長を決定した。続いて本年度の学校経営の改革方針について、学校長・学校経営品質向上委員会メンバーから説明した。その後、教務・進路・生指・総務の各部から本校現状報告を行い、人権教育担当からも人権教育推進協議会をかねて年度目標等を説明。更に定時制と衛生看護科に関する説明を行った後、関係者評価員から今年度目標に関する意見をいただいた。・夏休み後から冬休みにかけては、学校行事に関する案内を行い、桑高祭・体育祭の見学や2月の公開授業の案内等を行った。・第2回は平成26年の2月19日(水)に実施した。学校関係者評価委員は5名中3名が出席した。例年のようにこの会議にはPTA役員の方にも同席してもらった。PTA会長・学校関係者評価委員長・学校長の挨拶に続き、「桑名高等学校の現状報告」として、教務・進路指導・生徒指導・総務の各分掌から報告を行い、人権担当から人権教育推進協議会を兼ねた年間反省報告を行った。更に定時制についての報告と衛生看護科の状況等を教頭から行い、その後本校が行った学校自己評価について、この用紙を使って説明し、及び評価委員からの評価・意見を伺った。

(4)学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題

関係者評価	<ul style="list-style-type: none">・職業教育からの進路指導が大切と感じている。昨年度末の情熱大陸でのパネラーのみなさんはみな平坦な道のりを歩んでこられたわけではない。生徒達には勉強だけでは培えない、様々な力を持ってほしい。・衛生看護専攻科の卒業生が桑名市内の病院に1人しか就職していない。桑名にある学校なので、桑名で就職してほしい。・桑高祭・体育祭など学校行事で保護者・地域とのつながりを持ってほしい。数年前は町内の回覧板でまわってきたこともあった。
-------	--

(5)組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組

	<ul style="list-style-type: none">・近年桑名高校が良くなってきたということを地域や保護者によりアピールすることや、学校で行われている行事等の情報をHP等で発信し、その反応を受け取ることで内的動機とし、さらに組織力を高めていく。・組織的に授業改善を考える会(仮称もいろいろの会)をつくり、職員間の授業を良くしていきたいという意欲をより高めていく。・そのための時間的確保につながるような多忙感解消の取り組みを、今後も継続して行っていく。
--	---